

情報広報委員会

委員長 鎌田 正裕

令和5年度は、6月7日の第2回理事会に引き続き開催された委員会を対面で実施し、9月12日には、オンラインで2回目の委員会を開催した。両委員会では、附属だより123号の企画について話し合い、連盟のHPの活用法（外部への発信）についても意見を交換した。

『附属だより』の発行

令和5年7月に発行の『附属だより』第121号と、12月に発行の第122号の全附連盟特集ページを制作した。発行された附属だよりは、各学校園の保護者、教職員、関係諸機関に配布されるとともに、連盟HPにも掲載された。

第121号での全附連盟特集ページは、「全国に5校ある義務教育学校の特色ある取組」をテーマに、北海道教育大学附属釧路義務教育学校、福井大学教育学部附属釧路義務教育学校・附属幼稚園、岐阜大学教育学部附属小中学校、京都教育大学附属京都小中学校、島根大学教育学部附属義務教育学校、に執筆を依頼した。

第122号は、「附属学校における大学と連携した取組」をテーマに、以下の解説を各附属学校園に依頼した。

- ・宮城教育大学附属四校園と大学との連携について
- ・北海道教育大学附属旭川小における大学と連携した取組
- ・東京学芸大学附属小金井中学校「地質野外観察実習」
- ・東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校における高大連携の取組
- ・群馬大学共同教育学部附属特別支援学校「プログラミングに挑戦！！」

その他

日本教育新聞社より、同社が発刊する週刊「日本教育新聞」に全国国立大学附属学校に関する特集記事および一般記事（全附P連の活動）を掲載する企画の提案があり、これを了解した。実施時期は、2024年1月～12月とのこと。